

CS-Lung参加施設紹介



高知大学 医学部附属病院
呼吸器・アレルギー内科

Kochi Medical school, Kochi University
Department of Respiratory Medicine and Allergology



病院見学随時受付中

<http://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/index.html>

内容

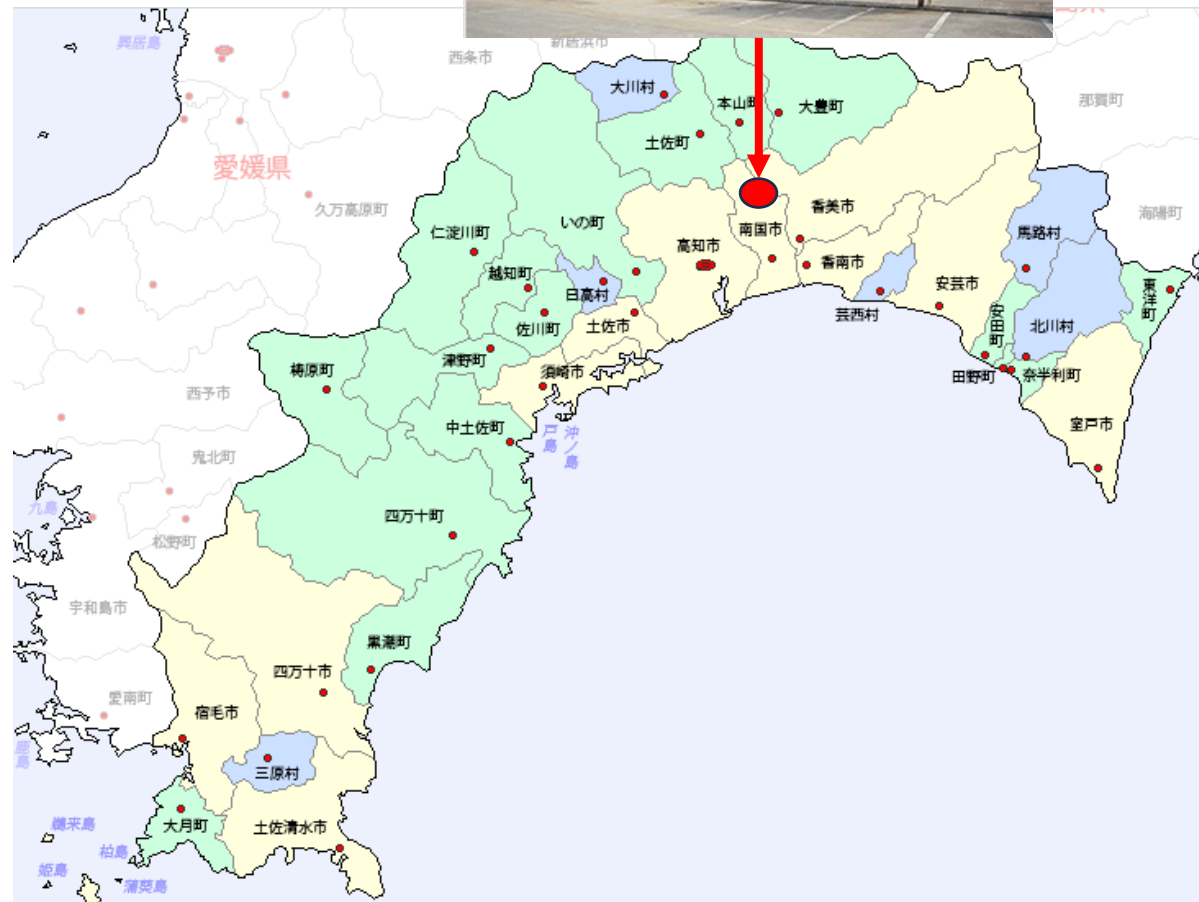
1. 病院と診療科の特徴
2. 初期研修のポイント
3. 呼吸器専門研修のポイント
4. 研修の実際

1. 当院の概要 ~研修について~

✓高知大学医学部・附属病院は高知県南国市にあり、高知市内から車で20分、南国インターから5分程度ののどかな場所にあります。

✓高知大学医学部附属病院（病床数613床）は、「高知県民に最良の医療を提供する」をスローガンに「おらんくの大学病院」として開かれた地域の中核病院です。

✓基本理念として当院は、建学の精神である「真理の探究」、「敬天愛人」に基づき、医療人としての人格をかん養し、人間味豊かな良き医療人の養成、地域医療に貢献できる医療人の養成、国際的に活躍できる医療人の養成を目指しています。



2. 初期研修のポイント

- ✓研修医それぞれが異なる将来像を描いているはずです。おなじ理念のもとで研修していても、個人に適した研修内容があります。どのような希望にも応えられるよう8のプログラムを用意し、各分野のアドバイザーがよりよいローテート研修プラン立案をお手伝いします。
- ✓安心・安全な研修のためのオリエンテーションが組まれています。救急研修もステップを踏んで、救急の現場に出させていただきます。



ICLS



採血・点滴法

2. 初期研修のポイント

- ✓ 大学病院を中心とする研修病院群を形成し、さまざまな医療機関での臨床研修を組み入れることができます。
- ✓ 「地域で生活しながら、へき地医療を学ぶ」、真の地域医療研修を用意しています。7つの地域から選択することができます。
- ✓ 研修医ルーム、学習スペース、ネット環境といった環境整備も充実しています。
- ✓ 研修医と研修センターとの月1回のミーティングを通じて、研修システムの改善や環境整備の推進を行っています。



研修医ルーム



勉強会

2. 初期研修のポイント

- ✓経営収益により、自己資金によるPETセンター設置、高額医療機器の更新・導入に充当しています。
- ✓初期研修修了後も安心して専門医研修や大学院での研究ができるよう、処遇を改善しています。
- ✓院内保育所の設置、女性医師キャリア形成支援プログラムなど、女性医師をサポートしています。
- ✓ホスピタルローソンやタリーズコーヒーなど院内アメニティーも充実しています。



院内保育所「こはすキッズ」



ホスピタルローソン



アメニティ施設

2. 初期臨床研修の目標

- ▶ 患者対応について、問診、診察、検査、結果の考察の流れを学び、自分で問診や診察を行い、検査を計画することができる。
- ▶ 呼吸器疾患について病態から検査、治療まで学び、呼吸器内科領域の基本的な診療ができる。
- ▶ 動脈血ガス検査やルート確保、胸腔穿刺などの呼吸器内科領域で必要な基本的手技を身につけることができる。
- ▶ 指導医への報告時やカンファレンスで、情報をまとめて、簡潔に説明することができる。

若手の指導医から上級医まで、いつでもみんなを待っています！

2. 当科での初期臨床研修について

まずは希望を聞いてそれぞれの研修医の先生に合わせた研修を考えるので、無理なく研修できる。

勉強できる疾患

- 呼吸器疾患（肺炎、気管支喘息、COPD、間質性肺炎、肺癌など）
- COVID-19を含めた感染症
- 他の内科的疾患

学べる手技

- 血液ガス検査（採血できるようになります！）
- ルート確保（絶対上達します！）
- 胸腔穿刺
- 気管支鏡検査

肺機能検査や胸部x線検査など画像の読み方も一緒に学べる。
急性期から慢性期診療まで、緩和ケアまで幅広く関わり方を研修できる。

3. 呼吸器専門研修のポイント

- ✓教授以下、21名の医局員（関連施設研修中も含む）により、高知県の東（室戸）から西（土佐清水、足摺）、県外から受診される多くの患者を診察している。
- ✓男性 11名、女性 10名で、女性も働きやすい環境です。
- ✓他科との連携・カンファレンスを行っており、院内でも円滑で活動的なチーム医療を行っている。
 - 肺癌カンファ：呼吸器内科、呼吸器外科、病理診断部、放射線科
 - 膠原病カンファ：呼吸器内科、膠原病内科、皮膚科
 - アレルギーカンファ：呼吸器内科、小児科、眼科、皮膚科、耳鼻科、薬剤部、栄養管理部

3. 呼吸器専門研修のスケジュール

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	外来日	合同医局会 回診		外来日	
午後	16時～ カンファレンス (放射線治療科 合同)		気管支鏡検査 17時 研究回診 抄読会 (隔月) 膠原病カンファ アレルギーカンファ	隔週 17時半～ カンファレンス (呼吸器外科)	気管支鏡検査

内科専攻医は週の決めた時間に必ず症例登録の時間を確保するようにしています！

3. 呼吸器専門研修での目標

診療

- 外来患者、入院患者、救急対応など幅広く対応
- 自分で問診から治療まで検討
- 患者・家族への説明
- ガイドラインの活用

技術

気管支鏡検査

胸腔穿刺・ドレナージ

呼吸管理

研究

- 大学院への入学
(社会人枠も利用)
- 身近な臨床研究から基礎研究に取り組む
- 積極的に多施設の研究にも携わる

教育

- 研修医や後輩の指導
- 学生教育、呼吸器内科の魅力伝える

3. 当科におけるキャリアパス

✓ 専門研修では、個々の希望に合わせたキャリアパスを形成し

多様な研修ができます！！

✓ 呼吸器・アレルギー内科領域の幅広い分野の研修ができます。

✓ 研修の中で専門分野や研究内容を自由に選択することができ、希望する専門医や学位の取得ができます。

✓ 上級医の指導を受け、国内外での学会発表や論文作成を行うことができます。

✓ 国内外留学も奨励しています。

✓ 子育て中のパパ、ママのワーキング体制についても時短や当直免除など柔軟に対応します。イクメンパパも多数います！

3. 当科におけるキャリアパス

- ✓ まずは内科専門医取得を目標に！
- ✓ 地域枠の医師は地域での研修も積極的に！

卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年
	初期臨床研修期間																
研修施設名	高知県下の研修病院		高知大学	あき総合病院 土佐市民病院 幡多けんみん病院 のいずれか	高知大学※1	高知大学	あき総合病院 土佐市民病院 野市中央病院 幡多けんみん病院など	高知大学・高知医療センター・近森病院※2		診療あるいは研究のため、国内・国外留学（希望者）				高知大学病院 あき総合病院 幡多けんみん病院 高知医療センター などの専門医として勤務			
診療以外のキャリア	-	-	大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す														
償還期間消化年数	1年	2年	3年	5年		6年	9年			-	-						

※1 1～2年間は高知市・南国市外での研修を確保する（本人希望や医局の状況にあわせて）

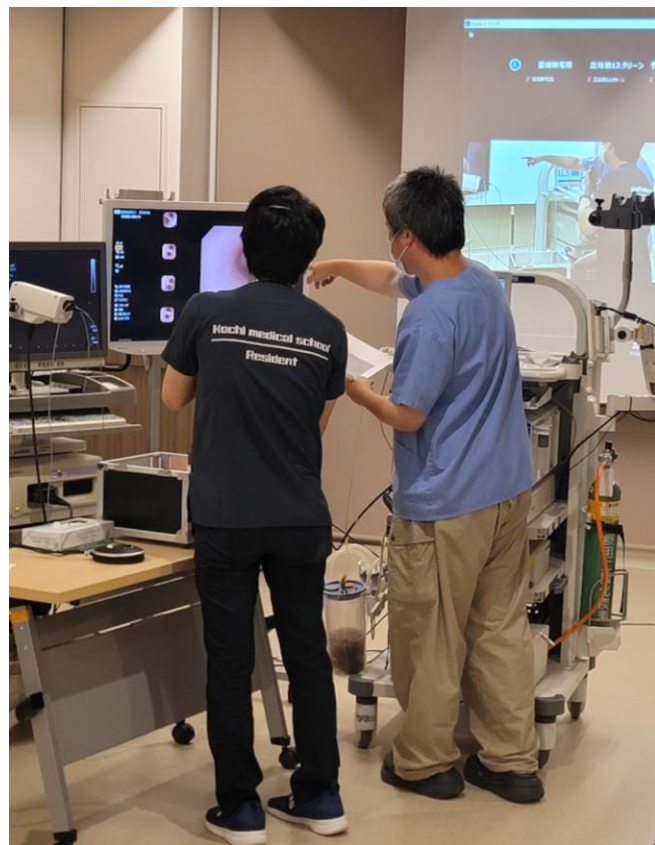
※2 1.5～2.5年は高知市・南国市外での研修を確保する（本人希望や医局の状況にあわせて）

4. 医局の雰囲気

～よく遊び、よく学ぶ、よく飲む?～



親睦会にて



研修医へ熱血指導中

日本呼吸器学会中国四国地方会



日本呼吸器学会中国四国地方会で**受賞者多数**
(毎回1-2人)

その裏では、厳しい予演会や上級医による発表の
個別指導も繰り返し行ってます。

4. 医局の雰囲気



仲良く団結力のある
医局です。



第62回日本呼吸器学会学術総会にて

ゆるキャラ しんじょう君と

4. 初期研修医・専攻医の先生の声

高知大学医学部附属病院

初期研修医 1年目 近藤孝哉先生

呼吸器疾患について学ぶことができました。血液ガス採取や胸腔穿刺、気管支鏡検査などの手技も優しくご指導いただきました。

(胸腔穿刺をマスターしました！)

高知大学呼吸器・アレルギー内科

内科専攻医 1年目 山崎悠司先生



今年度より後期研修医として母校でお世話になっております。呼吸器内科は疾患の種類が多く、手技や検査も多岐にわたるため、自分が興味のある分野に出会いやすいです。周囲の先生方に相談しやすい環境であり、充実した研修を送ることができております。

これからも日々精進し、成長していきたいと思っております。

4. 女性医師・若手医師の声



卒後11年目

私は現在育児中で、非常勤として週5日6時間ほど勤務、当直や休日出勤等完全免除で働かせていただいています。非常勤の場合は自分の状況によって完全に自由に勤務時間が選択でき、こどもが生後半年くらいの時は週1回午前中の外来応援のみという働き方をしていた時期もありました。

こどもの急な発熱や学校行事によるお休みも取得でき、休みが続いてしまう時も、男女共にお子さんがいらっしゃる先生方も多いからか非常に理解があり、休み明けにはお子さんの体調大丈夫？と気にかけていただけるくらいです。試行錯誤の毎日ですが、なんとかキャリアを続けてきています。



卒後5年目

呼吸器内科に入局して、上級医の先生方とはどなたとも接しやすく雰囲気の良いと感じています。処置のことや治療のことなどわからないことは一人で抱え込まず相談しながらやっています。休暇も非常に取りやすく、急に休むことがあったとしても、みんなで協力しながらカバーすることができています。また、子どもを持っている方も多いので、治療のことだけでなく、子育てのことなど仕事以外のアドバイスももらえます。

高知大学医学部 呼吸器・アレルギー内科



「幸せとは何か。」

患者さんにとって、医局員にとって。
地域に、社会に貢献し、
より良い未来を創るために、
私たちにできることを追求し続ける。

一緒に働きましょう！



高知大学医学部呼吸器・アレルギー内科HP <http://kochi-u-kokyukinaika.jp/>